

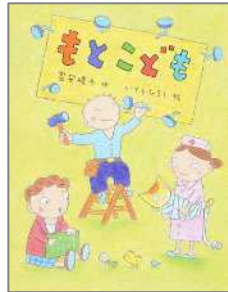
★えほん★

「じまんのマフラー」

マーシャ・ダイアン・アーノルド／作
マシュー・コーデル／絵 椎名かおる／訳
あすなろ書房 E4コオ



くまさんのじまんのマフラーが風でとんでいった。そのマフラーをいろいろなどぶつたちがみつけて、けんかしたりあそんだり…。くまさんのたいせつなマフラーはどうなっちゃうのかな？



「もとこども」

富安陽子／作 いうひろし／絵
ポプラ社 E3イト

ぼくのじいちゃんは、もてだいくだった。でも、もっとむかしは「もとこども」だった。ママもパンダもチョウチヨも、みんなみんなむかしは「もとこども」。わたしはいま「こども」。これからなにになろうかな。

「フーさんとであった日」

リンジー・マティック／文
ソフィー・ブラッコール／絵
山口文生／訳 評論社 E4フラ

100年ほど前のカナダ。じゅういしのハリーは、せんじょうへ向かうとちゅう、えきで1頭のコグマにであった。ウィニーと名づけられたコグマは、へいたちといっしょにふねにのってイギリスへ向かった。



「スミソニアンに恐竜がやってきた！」

ジェシー・ハートランド／作
志多田静／訳 六耀社 E4ハア

博物館に展示されている恐竜は、どこからどのようにしてやってきたのだろう。アメリカのユタ州の平原で発見されたディプロドクスが、首都ワシントンの博物館に展示されるまでをみてみよう。恐竜好き必見!!

★よみもの★

「うさぎのぴんぴん」

二宮由紀子／作 そにしけんじ／絵
学研プラス 931ニノ

ちびうさぎのぴんぴん。こぐまたちのまるごとイチゴ入りのシュークリームがうらやましくて、まるごとパイナップル入りのをたべたことあるもと、うそついちゃった。うそついてもいいのかな？



「月は、ぼくの友だち」

ナタリー・バビット／作
こだまともこ／訳 評論社 932ハヒ

ジョーは12歳の男の子。将来の夢は月を研究することだった。ところが、おばあちゃんが骨折し、両親がいないジョーは遠い親戚に預けられることに。その町で出会った大金持ちから突然あとつぎになれと言われて…。



「アリスのうさぎ」

斉藤洋／作 森泉岳士／絵
偕成社 931サイ

4月から就職するはずだった私は病気のため働けず、そのかわりに図書館の「児童読書相談コーナー」でアルバイトすることになった。図書館は意外と忙しい。今日は、ある男の子から「ここにあったはずの問題集がない」と言われた。そんな問題集なんて置いてあるはずなのに。



「フェラルズ 1」

ジェイコブ・グレイ／作 岡田好恵／訳
講談社 932クレ

コーは塀の上を道のように歩く。カラスたちと話せる。虫たちとも。8年前ブラックストーン市を襲った夏の厄災（ダークサマー）で両親を殺されて以来、コーはカラスたちと生きてきたのだ。



★しらべもののほん★

「えんとつと」

「北極のシロクマ」

藤原幸一／写真と文
少年写真新聞社 51

えんとつから黒いけむりが熱とともに北に流れだした。それが雲となって遠くはなれた北極にたどりつき、「どく入り」の雨になった。一方、北極のシロクマは、海の氷がへったためえさがみつからず、おなかがからっぽだった。



「まちのしくみ」

「(バックヤード絵ずかん)」

モクタン・アンジェロ／絵
こどもくらぶ／編 東京書籍 30

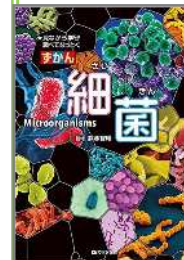
いつも使う駅やスーパー、お客さんが入れない「立ち入り禁止」の中のしくみはどうなっているの？ 私たちの見えないところで、はたらく人たちはどんな仕事をしているのかな？ 中をくわしく見てみよう。

「ずかん細菌」

「(見ながら学習調べてなっとく)」

鈴木智順／監修 技術評論社 46

ヨーグルトに入っているっていう「ビフィズス菌」、お腹が痛くなるっていう「サルモネラ菌」。きいたことはあるけれど、細菌ってどんなかたち？ 私たちにどんなことをするのか？



「アマミホシノラフグ」

「海のみステリーサークルのなぞ」

江口絵理／文 大方洋二／写真
友永たろ／絵 ほるぷ出版 487

奄美大島の海の底。砂に直径2メートルほどのまるいふしぎなまよう。まるでみステリーサークルみたい。実はつくったのは、見つかったばかりの小さな小さな新種のフグ。でも、何のために、そしてどうやってこんなサークルをつくるんだろう。